

1. 単元構成・計画

教科名	英語科	学年	3年	時期	10月	
単元名	Rule Making Project ~日本の学校がより良くなる校則を提案しよう~					
教科書該当単元	Learning CIVICS in English (東京書籍 NEW HORIZON 3 pp. 68-69)					
単元末課題 (PT=パフォーマンステスト)	【話すこと(発表)】【書くこと】 「日本の学校を良くする校則を提案し、自分の考えを伝えよう」					
目標	知識及び技能【1】	[知識] 選挙や投票、校則に関する語句の意味や働きを理解することができる。(L/SI/W)				
	知識及び技能【2】	[技能] 選挙や投票、校則に関する語句の意味や働きの理解をもとに、対話や資料からの情報を整理し、自分の意見を伝え合う技能を身に付けることができる。(L/SI/W)				
	思考力、判断力、表現力等【1】	若者の社会参画、校則に関する多国間比較調査の内容から読み取った情報を伝え合うことができる。(L/R/SI/SP/W)				
	思考力、判断力、表現力等【2】	賛成・反対等の立場を明確にし、議題の内容に適する表現を用いて意見を伝え合うことができる。(L/SI/W)				
	思考力、判断力、表現力等【3】	意見交流の内容を活用し、論理的な構成で相手を説得できる校則提案を表現することができる。(L/SP/W)				
	学びに向かう力、人間性等	社会参画の重要性について考えを深めるとともに、根拠を明確にして自分の意見や主張を伝えることができる。(L/R/W/SI/SP)				
評価	評価の観点	評価規準	評価材料			
	知識・技能【1】	[知識] 選挙や投票、校則に関する語句の意味や働きを理解している。	ワークシート			
	知識・技能【2】	[技能] 語句の意味や働きの理解をもとに、対話や資料からの情報を整理し、自分の意見を伝え合う技能を身に付けている。	ワークシート PT 活動の観察 Padlet 投稿			
	思考・判断・表現【1】	若者の社会参画、校則に関する多国間比較調査の内容から読み取った情報を伝えている。	ワークシート 活動の観察			
	思考・判断・表現【2】	根拠を明確にして、トピックに対する賛否を理由や根拠を明確にして表現している。	活動の観察 Padlet 投稿 PT			
	思考・判断・表現【3】	他者からのコメントやアドバイスで得た意見も踏まえ、根拠を明確にして論理的に主張を伝えている。	ワークシート PT			
	主体的に学習に取り組む態度	根拠を明確にして自分の主張や意見を伝えるとともに、他者の意見やコメントにも耳を傾けて、主張や意見の内容を深めて伝えようとしている。	振り返りシート 活動の観察 PT			
指導計画			評価計画			
時数	ねらい・学習活動等			知	思	主
1	生徒個々の政治や校則に対する関心を確かめるとともに、政治に関する内容を話し合う会話内容を聞き取り、聞き取った情報からわかることを伝え合う。若者の社会参画についての諸外国比較のデータからわかったことを伝え合うとともに、社会参画に対する自分の意見を共有し合う。			[1]	[1]	
2	ルールメイキング(校則の見直し)について取り組む高校生の話題や世界の校則内容を理解し、社会参画に対する自分の意見を共有し合う。身近な社会参画として生徒による校則の見直し(ルールメイキング)活動について理解するとともに、校則内容の賛否に対する自分の主張を Padlet で伝え合う。			[2] ● [3] ●	[2] ● [3] ●	○
3(本)	前時に用いた Padlet 投稿の内容から、日本の学校がより良くなる校則提案を考え、クラスメイトと伝え合う。クラスメイトとの意見交流を経て、自分の主張を再考する。また、再投稿した内容は、論理的に伝える英文構成を考えるために、Google Slide で OREO シートを使い主張内容の論理構成を考える。 【生徒が再考した内容は、Google Slide データで一度提出する→教員より中間コメントを記載し次時で返却】			[2] ●	[2] ● [3] ●	○
4	教員からの内容や表現についてのアドバイスやクラスメイトからの助言を基に、校則見直しに対する自分の主張内容を見直す。再考した主張内容を1分間以内の動画で撮影しパフォーマンス課題として提出する。単元全体の活動を振り返る。			[2] ○	[3] ○	○

※○主に評定に用いる評価 ●主に学習改善につなげる評価

2. 指導計画における学習履歴を活用した活動について

1	特になし。
2(本)	議論課題に対する自分の意見を考える。また、考えた内容を Padlet 投稿内で共有する。
3	議題に対する意見をクラスメイトと共有するとともに、校則の見直しに向けた主張内容を考える。考えをまとめるときに、クラスメイトと論理構成を共有し合い、主張内容や理由と具体例のつながりについて互いに助言し合う。助言をもとに、OREO シートにまとめて一度教員へ OREO シートで提出をする。【授業終了後、教員は課題に対してコメント機能で主張内容や表現の助言を実施】

4	前時で提出した OREO シートの内容に対する教員からのコメントを基に、再度主張内容を考え直す。また、主張内容が完成したら、1 分間スピーチ動画として Google Classroom 内で動画課題として提出する。
---	---

3. 本時案

(1) 本時のねらい	
知識・技能	接続詞や表現内容の語彙を適切に使用できる。
思考・判断・表現	意見交流やアドバイスを基に、主張を支える理由や具体例を含めて相手を説得できる校則提案を表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	クラスメイトや教員からのアドバイスより、論理構成や主張に対する理由の妥当性を考え、より説得力の高い主張内容にできるよう粘り強く活動に取り組んでいる。

(2) 学習の展開		
学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点 ●・○評価の方法
本時の課題：他者からのアドバイスを基に自分の提案内容を再考し、主張動画を撮影しよう。		
2. 本時の学習課題の確認と振り返りシートへ目標を記入する。	2. 振り返りシートを活用し、前時の学習内容と本時の学習目標の確認をさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ● [知識・技能] 観察・OREO シート・動画 ・表現内容の語彙を適切に使用できる。 ● [思考・判断] 観察・OREO シート・動画 ・主張を支える理由や具体例を含めて相手を説得できる校則提案を表現することができる。 ○ [主体的に学習に取り組む態度] 観察・OREO シート・振り返りシート ・アドバイスを受けて、主張や意見の内容を論理性のある内容へと深めようとしている。
3. 教員からのコメントがついた課題を確認し、主張内容を再考する。	3. 前時に提出した OREO シートのコメントから、主張内容の論理構成や理由の妥当性を考え直すよう一人ひとりに声掛けをする。	
4. 主張内容を 1 分間のスピーチ動画課題として撮影し提出する。	4. 発音の確認や撮影時の声量、目線など発表する意識を持たせて動画撮影をするように指示をする。	
4. 学習課題を振り返る。	4. 本時の振り返りを文章記述で入力させる。	
5. 次時の内容を確認する。	5. 次時の学習内容を確認させる。	

(3) 主に学習改善につなげる評価と改善の手だて		
思考・判断・表現	C (手だて)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主張を考える際に、主張の内容を整理して生徒の伝えたい内容をまとめる。 ・机間支援などで語彙の選択や文法表現の使用方法について支援を行う。

(4) 主に評定に用いる評価と改善の手だて		
知識・技能	A	相手が理解しやすい語彙や表現を適切に選択し、文法ルールに基づき適切に使用することができる。
	B	意味内容が伝わる語彙や表現を選択し、文法ルールに基づき適切に使用することができる。
	C (手だて)	意味内容が伝わらない語彙選択をし、語彙や表現内容に間違いが多く意味内容が理解できない。 (生徒の伝えたい内容に適する語彙や表現の選択を提案する。)
思考・判断・表現	A	OREO の構成で主張＋理由＋具体例＋主張の論理構成で、主張と理由のつながり及び理由と具体例のつながりが明確な主張内容を表現することができる。
	B	主張と理由のつながりがあり、自分の主張をわかりやすく意見を伝えることができるが、具体例が不十分な点があり、説得性の観点では努力が必要。
	C (手だて)	主張と理由のつながりを意識できず、説得力のない意見になっている。 (主張に対する理由が主観的表現になっていないか、机間巡視をしながら確認をする。)
主体的に学習に取り組む態度	A	OREO シートの構成、Padlet の他者意見等やコメント等を活用し表現内容や主張構成を吟味し、説得力の高い意見を構成できるように、粘り強く課題達成に向けて取り組んだ。
	B	OREO シートの構成、Padlet の他者意見等やコメント等を活用し、主張と理由のつながりを確かめ、課題達成に向けて取り組んだ。
	C (手だて)	他者意見等やコメント等の確認や理解が不十分な中で、課題達成に向けて自分なりに取り組んだ。 (机間巡視での活動内容確認。OREO シート課題でのコメント内容の補足説明を一人ひとり実施する。)